

| 目的 | 目 標 | 方 針 | 活 動 | 評 価 指 標 |
|--------------|----------------------------|--|--|---|
| 政治力・政策実現力の強化 | 目標 1. 看護職国会議員の支援 | 1) 第 27 回参議院議員選挙における組織内候補予定者を全力で支援する 2) コンプライアンス（法令遵守）に基づく政治活動等の推進 3) 看護職国会議員との連携と協働 4) <u>看護職国会議員の確保</u> | 1) ①第 27 回参議院議員選挙で、組織代表候補者の支援体制を整備する（三役会、県役員会、総合役員会、支部役員会） ②第 27 回参議院議員選挙の総括を基に、次期参議院議員選挙の課題抽出と対策を検討する 2) ①「選挙活動マニュアル」等の周知とその活用を推進する（三役会、県役員会、総合役員会、支部役員会） ②日本看護連盟主催、会長・副会長・幹事長・支部長合同会議（6 月）後 コンプライアンス対策について周知徹底を図る ③事務担当者は本部のオンライン研修会に出席し、政治資金規正法等を学び、理解を深める 3) ①知名度向上のため、広報媒体（HP、SNS、LINE）などを積極的に活用する ②看護連盟が支援する看護職国会議員の国政報告へ定期的に参加し、議員活動を会員へ周知徹底する ③看護職国会議員の SNS を通じて活動を知り、支援する ④研修会等の講師として、看護職議員を招聘する 4) ①次期衆議院議員選挙に向けて該当者を支援する | 1) ・得票数 7000 票以上 ・総括から課題抽出 2) ・①～③研修会参加状況 3) ・アンケート調査結果 ・HP アクセス件数 ・国政報告実績 4) ・衆議員議員の当選 |
| | 目標 2. 看護政策の実現 | 1) 日本看護連盟、福岡県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握と改善 3) 看護教育機関との連携 4) 新興感染症対策の政策推進 | 1) ①自民党厚生労働部会、厚生労働委員会等の委員や各級議員と連携を強化する ②県選出の国会議員や県議会議員の政策説明会へ参加し、職域団体として情報共有をはかる ③ 福岡県看護協会の重点施策について情報を共有する ④若者層の看護政策への関心や、政策提言力の強化を支援するために、オンライン・ハイブリッド等を活用して研修への参加を促す 2) ①「現場の声」入力窓口を周知徹底し、WEB 調査に協力する ②「現場の声」調査の分析結果から、政策提言につなぐ具体的根拠を明確にして会員に周知する ③ 政策提言内容及び制度改革状況は、タイムリーにHP、機関誌等で会員に周知する 3) ①看護教育機関に「看護と政策」に関する講義を依頼し連携を強化する ② 看護学生の投票行動を促す依頼をする 4) ① 感染対策に関する現場の課題を日本看護連盟と関係国会議員等で情報共有する ② 福岡県看護協会と協力し、地方議会・地方行政へ要望活動ができるよう情報を共有する ③感染対策支援については、必要に応じて多職種連携で自民党県議団に要望する | 1) ・政策説明会への参加状況 ・政策懇話会の実績（開催件数） ・ブロック別政策セミナー、都道府県別会議 ・研修への参加状況 2) ・福岡県看護連盟 HP アンケート結果 ・広報媒体活用件数の把握 ・要望件数と要望書の提出 3) ・政策懇話会の活用 ・看護教育機関との連携、情報交換 ・期日前投票等の投票率 4) ・新興感染症対策の現場への還元状況 ・ワンヘルス/ニューレジリエンスの推進 |
| | 目標 3. 看護を支援する国会議員の確保と支援 | 1) 県選出の国会議員との連携強化 | 1) ① 県選出国会議員の政策フォーラム、国政報告会等に参加し、連携を図る ② 福岡県看護連盟と国会議員との交流の場を持ち、看護政策必要性の理解を求める ③ 県の看護政策に理解を示す国会議員への支援体制を強化する | 1) ・職域活動実績(参加回数・参加人数) ・交流の場の開催と回数 ・県通常総会出席者数 ・自民党県連年次大会の代議員数 |
| | 目標 4. 地方議会、地方行政への影響力の強化 | 1) 地方議員との情報交換と活動支援 | 1) ① 地方議員との交流の場を設け、連盟への理解を深める ② 日本看護連盟への職域活動報告をタイムリーにし、情報の共有化及び評価を参考に、地方議会、行政と福岡県看護連盟の活性化を推進する | 1) ・看護政策担当議員との交流 ・職域活動評価 |

| | | | | |
|--------------|---------------------------|---|---|--|
| 政治力・政策実現力の強化 | 目標4. 地方議会、地方行政への影響力の強化 | 2) 福岡県看護問題対策議員連盟（仮称）の再構築 3) 地方議会、行政等との情報交換 | 2) ① 福岡県看護問題対策議員連盟（仮称）の再構築に向けて議員に働きかける 3) ① 福岡県保健師教育大学院化の要望を継続・強化する ② 地方議員の活動を支援する | 2) ・賛同議員数の把握 3) ・要望提出の継続 ・看護を応援する県議・市議・首長の活動把握 ・議会傍聴回数 |
| | 目標5. 地方議員の擁立と支援 | 1) 地方議員候補者の発掘と育成 2) 地方議員との連携強化 | 1) ① 県議、市（町）議への看護職の立候補者の発掘と支援を行う ② 県、自民党県連が実施している若手育成プログラム等に、積極的に参加できるようにHP等の媒体を駆使し情報提供する 2) ① 看護職を応援する候補者の選挙活動を応援する （推薦状の発行、候補者の後援会名簿集め、政策講演会・決起集会、街頭演説等への協力と参加） | 1) ・育成プログラム等の参加者数 2) ・地方選挙での結果 ・看護を応援する県議・市議・首長当選者数の把握 |
| 組織力の強化・拡大 | 目標1. 会員の確保対策 | 1) 2025年度の会員目標数の設定と目標管理 2) 福岡県看護連盟入会の促進、退会者の防止 3) 若年層、学生会員の確保（青年部との協働） 4) OB支部、OB会の活性化 | 1) ① 都道府県別会議において「会員確保」について検討し、有効な対策を実行する ② <u>ハンドブック</u> を利用し、看護連盟への理解を深め入会促進につなぐ ③ <u>各病院の新人オリエンテーション</u> を利用し、看護連盟への理解を深め入会促進につなぐ ④ 「各支部における会員増員の目標値と戦略」を作成し、上半期(9月)と下半期(3月)に目標達成状況を評価する ⑤ 政策セミナー等を通して、連盟活動の理解を深め会員確保に努める ⑥ 未加入者の多い施設の看護管理者との交流の機会を作る ⑦ 対象者別研修を通して、連盟の活動の理解を深め会員確保に努める 2) ① 福岡県看護協会役員の連盟加入を促進する目標値 100% ② 福岡県看護協会会員の連盟加入率を3%UP(20%)にする ③ 国公立病院や看護系大学等の会員増に向けて、福岡県看護協会と検討し協力を得る ④ 福岡県看護連盟会長、福岡県看護協会会長と協働で施設訪問し入会促進を図る ⑤ 医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける ⑥ 定年退職者、産休・育休者、中途採用者の入退会状況の調査分析を行い入会を働きかける ⑦ 看護大学・看護専門学校教員への入会を学校訪問し働きかける 3) ① 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける ② 連盟役員等が講演や講義の機会に、看護政策や看護連盟について必要な情報を提供する ③ 実習施設や研修施設において看護学生に働きかけ、学生会員の入会を促進する ④ 青年部委員会で看護学生を対象とした基礎研修の在り方を検討する 4) ① 福岡県看護連盟OB会の組織化を検討する ② 支部が協力し合いながら地区ごとに交流会を企画する | 1) ・会員目標数 7900人 （2025年3月末 7,167人） ・研修会出席状況 2) ・会員数の増加の有無 ・福岡県看護協会会員の連盟入会率を20% （福岡県看護協会 17%、全国平均 23%） ・入会者数（新規、再入会）、新規入会施設数 ・継続入会者数、継続数 ・賛助会員数 ・教員入会員数 ・定年退職者、産休・育休者、中途採用者の入退会状況 3) ・看護教育機関における実績 ・20～30代の入会員数の増加状況 4) ・OB会支部設置 ・OB会交流会開催実績 |
| | 目標2. 看護連盟の活動の強化及び周知徹底 | 1) 日本看護連盟と福岡県看護連盟との連携強化 | 1) ① 日本看護連盟会長会及び中央役員会、各種委員会、日本看護協会政策情報などをタイムリーに各支部役員へ発信する ② 都道府県別会議に参加し県の特性を生かした会員確保を検討し活動強化に繋ぐ | 1) ・発信状況の実績 ・都道府県別会議受講者の把握 （福岡県看護協会役員、青年部参加状況） |
| | | | | |

| | | | | |
|-----------|----------------------------------|---|---|---|
| 組織力の強化・拡大 | 目標 2. 看護連盟の活動の強化及び周知徹底 | 2) 自律した会員の育成を目指した研修の推進 | 2) ①未入会者及び連盟会員に対し、対象別研修に沿った各支部研修について支援する ②オンラインツールの活用を促進し、効果的・効率的な会議・研修を企画する ③基礎研修資料福岡版を新入会員・未入会者層の研修や集会で活用する | 2)・会議・研修等の実績 ・オンライン活用実績 |
| | 目標 3. 支部組織の強化・促進 | 1) 支部組織活動の強化及び支部役員・リーダーの意識強化 2) 各支部会員のモチベーション強化 | 1) ①リーダー研修を実施し支部役員や支部リーダーへの役割、意識価値を強化する ②「 <u>対象者別研修の標準的枠組み</u> 」に沿った教育計画を立案、支部組織活動を意識した人材育成を実施する ③支部長・施設連絡員・病棟リーダー間の連携とチームワークの強化を支援する ④支部運営マニュアルの整備を行い、支部役員の役割を明確にし、リーダーの育成や支部の円滑な活動を支援する 2) ①県・支部に於いて各級議員によるミニ研修会等を行い、議員との交流を深める ②地方議員による看護体験を企画・実施する | 1)・対象別研修の実施状況 ・アンケート調査 2)・集会、研修会、への参加者数及び交流アンケートの結果 |
| | 目標 4. 看護連盟・看護協会との連携・協働のさらなる推進 | 1) 福岡県看護協会との連携強化 | 1) ①「ブロック別合同会議」に福岡県看護連盟会長と福岡県看護協会会長が参加し、活動内容の情報共有と選挙活動、会員確保等の共同体制について検討する ②福岡県看護協会総会・福岡県看護連盟総会に協会長・連盟会長が相互に参加する ③「ブロック別看護政策セミナー」に福岡県看護協会会長及び役員の参加を促す ④福岡県看護協会と福岡県看護連盟合同（会長・役員）で看護政策を協議、要望書等を作成し行政・県議団へ提出する | 1)・福岡県看護協会理事及び会員の連盟入会比率の向上 ・看護職の投票率の向上 ・安全な政治活動、選挙協力の実施 |
| | 目標 5. 看護連盟の効率的な組織運営 | 1) 福岡県看護連盟の規約に基づいた効率的な運営 2) 福岡県看護連盟 22 支部と連携した効果的な運営 3) 財政等の健全化と適正化 | 1) ①内部ガバナンス（統治）及びコンプライアンス（法令順守）に基づく組織運営を行うために新任役員研修や新入会者研修を開催し、組織力の強化を図る ②効率的な運営を行うために規約検討委員会等を設置する 2) ①PDCA プロセスに基づいた行動計画に沿って実践・評価し、課題を明確にする ②諸会議（通常総会、三役会、県役員会、総合役員会、青年部委員会、広報委員会、編集委員会）の円滑かつ効率的な運営を行う 3) ①費用対効果を会議日、事業費、政治活動、選挙運動等の費目別に見極め、費用を効果的に運用し活動化を図る | 1)・新任役員研修会、新入会者研修開催 ・出席状況及び、情報交換 GW の継続 ・設置の有無 2)・役割分担に従って職務を果たす ・行動計画に沿った実践、評価、課題 3)・収支監査及び事業監査、役員の意見 |
| | 目標 6. 若手会員の育成 | 1) 若手会員の活性化の促進 2) 青年部活動の基盤づくりの促進 | 1) ① 全国青年部代表者ミーティングに参加を奨める ② 九州ブロック協議会開催の研修会に参加する ③ <u>自民党が実施する青年部研修会等に積極的な参加を奨励する</u> 2) ① 第 12 回ポリナビワークショップ in 福岡を開催し、若手会員の入会を促進する ② <u>青年部支部移行に向けての支援と理解促進を推進する</u> ③ <u>各種研修会や看護学校での研修等の講師として活動できるよう、青年部の育成を支援する</u> ④ <u>教育機関の協力を得て学生会員の入会促進を支援する</u> ⑤ 情報共有ツールの活用を促進し、ブロック内 8 県の青年部活動を共有する | 1)・集会、研修会、協議会への参加者数及びアンケート調査の結果 2)・若手会員の入会数、促進実績 ・自民党福岡県連政治塾参加者の修了 ・学生会員数の増加 |
| | 目標 7. 広報活動の強化充実 | 1) 会員に向けた広報活動の充実・強化 | 1) ① 機関誌を 2 回/年の発行を試みる ② 上記①に伴い、ホームページ等情報媒体の円滑化を図り編集活動を工夫する ③ 広報委員会を 6 回/年開催し、活動の方針、具体策を検討し、広報活動を推進する ④ 福岡県看護連盟 HP の更新頻度を増し、連盟活動及び政策提言活動等の情報を迅速に発信する | 1)・広報活動の状況 ・機関誌内容等アンケート調査 ・情報媒体の工夫 ・HP のアクセス数の増加 |

| | | | | |
|-----------|---------------------------|---|---|---|
| 組織力の強化・拡大 | 目標7. 広報活動の強化充実 | 2) インターネットを活用した有効な情報発信 | ⑤ HP「これって知っている?」「私のイチオシ」への投稿を推進する 2) ① 諸研修会、諸集会で看護職国会議員のビデオメッセージが上映されることの周知 ② 看護職国会議員の知名度向上を推進するため、公式HPやWEB版アンフィニ、SNS等のタグ付けを会員に周知徹底を図る ③ WEB版アンフィニ掲載のトピック記事は、HPでタイムリーに情報発信する | 2)・上映回数と知名度の相関調査 ・アンケート調査 |
| | 目標8. 社会変化に即応するためのDXの推進 | 1) 業務効率化や災害等の不測の事態に備える <u>デジタルインフラ基盤の推進</u> 2) 各種会議及び研修事業における安定的なオンライン運用 3) SNS及びデジタルを活用した効率的な活動の推進 | 1) ① 日本看護連盟と福岡県看護連盟のデータ共有に向けて、クラウドの活用に協力する 2) ① ZOOMプロライセンス契約を継続し、支部での活用を推進する ② ハイブリッド形式の研修会や常設委員会のオンライン化を促進する 3) ③ <u>SNSアカウントの運用を促進する（フェイスブック・Xの活用）</u> | 1)・データ蓄積状況 2)・研修会開催実績と参加 3)・SNSアカウントの運用実績 |
| | 目標9. ブロック協議会の活動の強化・促進 | 1) ブロック協議会の活性化 | 1) ① ブロック協議会へ参加し、活発な情報交換と共有を図る | 1)・ブロック協議会内での課題の共有化 |
| | 目標10. 関係団体・関係組織との連携・強化 | 1) 福岡県看護協会以外の関係団体との交流促進 | 1) ① 医療関係団体との交流の機会をつくる ② 支援団体・支援企業との交流の機会をつくる ③ 支援団体・支援企業所属の関係者に賛助会員への入会を勧める ④ 福岡県鍼灸マッサージ師連盟との提携を更新し、連盟会員の福利厚生の一助とする | 1)・交流の機会が持てたか ・看護系要望団体役員の入会数の増加 ・賛助会員数の増加 |
| 会員の福祉の充実 | 1.災害への対応 | 1) 災害発生地への支援 | 1) ① 災害時の情報発信をする ② 情報収集をタイムリーに行い、本部に速やかに伝え、被災地の現場の声を国会議員に届け支援協力を要請する ③ 災害見舞い支援金等の申請手続きを迅速に行う | 1)・実施状況 |
| | 2.福利厚生への対応 | 1) 日本看護連盟及び福岡県看護連盟内規に基づく対応 | 1) ① 福岡県看護連盟会長等の表彰を行う ② 日本看護連盟名誉会員・叙勲等受賞者への対応を行う ③ 物故者への対応を行う ④ 慶弔等への対応を行う | 1)・実施状況 |
| | 3.諸問題への対応 | 1) 福岡県看護連盟会員の安全の保証 | 1) ① コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報交換を行う ② 諸般の疑問や問題発生の際は、速やかに日本看護連盟へ情報提供し、専門家や顧問弁護士と相談し、速やかに解決する | 1)・選挙運動違反防止、タイムリーな情報共有 ・規約・細則の見直しや組織運営上の諸問題の対応 |